



平成27年(2015)の関東・東北豪雨で被災した芹沢地区

芹沢地区

関東・東北豪雨の爪痕



通行不能となった道路



洗掘され寸断した道路



土石流による家屋被害



堆積した流木

鬼怒川を決壊させた大雨の影響、日光にも

平成27年(2015)9月の関東・東北豪雨では、日光市芹沢地区で8溪流(9箇所)において土石流が発生し、民家や道路が被災。市道が通行不能となり、被災家屋7軒(全半壊)、道路被害8箇所、住民25人が一時孤立する事態とな

りました。

線状降水帯と呼ばれる積乱雲が長時間鬼怒川上空に停滞し、観測開始以来最大雨量を記録したこの豪雨によって、鬼怒川下流では、堤防の決壊や溢水の被害が発生しました。



さらにかわしい
情報はこちらから

国土交通省 関東地方整備局 日光砂防事務所

「砂防なくして日光なし」-先頭に立って砂防の必要性を訴えた初代日光市長・佐々木耕郎氏の言葉